

複合仕訳上で追加仕訳の加算金額の自動合計

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、銀行からの仕訳データに追加仕訳を設定した場合に加算処理を自動計算する方法の手順を明記しております。

銀行からのデータが以下の通りとします。

普通預金：876,941 円 売掛金：876,941 円

この変換設定に「手数料：1,000 円」の追加仕訳をして以下の複合仕訳を生成します。

**普通預金：875,941 円 売掛金：876,941 円
支払手数料：1,000 円**

この仕訳を生成するための「追加仕訳の設定」をご説明致します。

まず、以下の追加設定の画面を表示して、「複合仕訳として処理」、「親仕訳から指定金額を減算」「金額を指定する」をチェックして、金額を入力します（今回は「1000」です）。摘要の入力が必要な場合は、「借方摘要」を入力して下さい。

次に「勘定科目」の設定を行います。今回の設定では、「借方側」の情報を以下のように設定します。

借方勘定科目で「支払手数料」を設定しております。

ここで注意点ですが、「貸方勘定科目」を設定するとこの金額の自動計算を行いません。仮に貸方勘定科目を「売掛金」と同一の勘定科目に設定しても、勘定科目が設定された場合は、その勘定科目で追加仕訳が設定されます。

追加仕訳の設定が全て完了したら「登録する」を選択すると「変換設定の変更」画面に戻り、追加仕訳タブに設定した設定が追加されていることが確認できます。

画面下部の「更新する」をクリックして変更内容を登録します。

変換設定の変更

基本情報
 優先順位: 1 種別: 仕訳エディタ用
 更新日時: 00/00/00 00:00:00 拡張条件: 表示する

変換設定のオプション
 「文字列」と「科目、補助、部門」の変換を行わない
 「文字列」と「科目、補助、部門」の変換を行った後、ゴミ箱に移動する

変換設定の高度なオプション

比較の条件 文字列等の変換 科目、補助、部門等 追加仕訳

親仕訳データを追加仕訳の前に表示する
 金額減算後、親仕訳がマイナス金額の場合は逆仕訳にする

新規登録

科目	借方金額	借方補助科目	借方部門	借方金額
50	-	-	-	¥1,000

更新して前(B) 更新して次(E) 更新する(O) キャンセル(N)

仕訳データを一度削除して再度コンバートすると以下の仕訳データが生成されます。

HAYAWAZA X(x86) - [卒業教室・第9期(R.03/04/01-R.04/03/31) - 発生会計 22]

表示順を日付順で表示 (スプリックの設定未適用)

No.	日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区 分	借方摘要1	貸方勘定科目
8381	2020/04/05	普通預金	三菱東京UFJ		875,941					売掛金
8381	2020/04/05	支払手数料			1,000		91 課外仕入	内税		

未実行リスト(銀行)(10) 未実行リスト(Excel) 仕訳エディタ(変換済)(2) 変換設定(1) ホームページ

借方合計:876,941 貸方合計:876,941 貸借ノズル:0 件数:2件中1 - 2 表示(件数すべて)

以上